

流行性感冒(流感)

◎流感的类型

流感因抗原性不同而被分为A型、B型和C型三种。其中A型病毒由于在其细胞表面存在着两种抗原性酶(血细胞凝集素以及神经氨酸苷酶),所以又将其划分为H1~13亚型和N1~9亚型病毒两种。而B型和C型病毒则没有亚型。

不仅如此,A型病毒的上述两种酶还会发生变异。当这种变异程度较小时(连续抗原变异),同型的疫苗在一定程度上会产生效果;但当酶变异的程度加大时(不连续抗原变异),那么同型的疫苗便会完全失去作用。流感肆虐的现象于是产生。

◎现在正值流感季节

从2005年第36周(9月5日)到第49周(12月5日~11日)的这段期间,日本国内检验出来的流感患者情况为:A/H1N1(苏联型)31例、A/H3N2(香港型)72例、共计103例。

在日本,流感大多在每年12~3月这段期间流行。这是因为此时低温·干燥的环境很适合于飘散在空气中的病毒生存所致。



インフルエンザ

◎インフルエンザの分類

インフルエンザは、抗原性の違いによりA、B、Cの3型に分類されます。このうち、A型については、ウイルス表面に存在する2つの酵素(ヘムアグルチニン及びノイラミニダーゼ)の抗原性で、H1~13亜型、N1~9亜型に分けられます。B、C型には亜型は存在しません。

さらに、上記の酵素は変異を起こします。その変異が小さい場合(連続抗原変異)には、同型のワクチンがある程度有効ですが、変異が大きい場合(不連続抗原変異)には、同型のワクチンが全く効きません。このため、インフルエンザが大流行することがあります。

◎今シーズンのインフルエンザ

2005年第36週(9月5日~11日)以降第49週(12月5日~11日)までの間の日本国内でのインフルエンザウイルスの検出状況は、A/H1N1(ソ連型)31件、A/H3N2(香港型)72件の合計103件が報告されています。

日本では、インフルエンザは毎年12~3月に流行します。これは、低温・乾燥という環境が空気中に漂うウイルスの生存に適しているからです。

